

平成25年度(上半期) 水道事業の業務状況

問い合わせ
上下水道課
☎44-5311

予算の執行状況

区分		予算額	執行額	対予算比率
収益的収支	収入	924,519,000円	475,364,305円	51.4%
	支出	953,882,000円	443,374,995円	46.5%
資本的収支	収入	187,357,000円	53,778,500円	28.7%
	支出	469,173,000円	188,952,556円	40.3%

借入資本金の種類と借入高

借入資本金の種類	借入高
財務省財政融資	3,914,180,319円
公営企業金融公庫	335,140,822円
銀行等資金	710,248,500円
合計	4,959,569,641円

損益計算書

費用	収益
1.営業費用 369,517,656円	1.営業収益 439,011,570円
2.営業外費用 73,857,339円	2.営業外収益 36,352,735円
3.経常利益 31,989,310円	
費用合計 475,364,305円	収益合計 475,364,305円

貸借対照表

資産	負債・資本
固定資産合計 10,515,696,708円	負債合計 74,787,303円
流動資産合計 477,336,651円	資本合計 10,918,246,056円
資産合計 10,993,033,359円	負債・資本合計 10,993,033,359円

用語解説

- 収益的収支**
当該年度の企業の経営活動で発生する収益(収入)と、それに対応する費用(支出)です。主な収入は水道料金で、支出には水道水提供に要する経費のほか、職員給与費、支払利息、建物などの固定資産の減価償却費などが計上されます。
- 資本的収支**
水道水の安定供給を維持し、利用増に対処するために要する諸設備の整備・拡充などの資産の取得に要する経費や、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と、資産の取得に要する企業債などの収入が計上されます。

- 借入資本金**
長期借入金です。水道管など水道施設の建設費用のために用いられます。借入高は返済の済んでいない借入金の残高を示します。
- 損益計算書**
一定期間の企業の経営成績を示す報告書で、その期間内に得た収益から、それを得るために要した費用を差し引く形で、損益の発生原因とその期間の純利益(または純損失)を明らかにした報告書です。
- 貸借対照表**
企業の一定時点における財政状態を明らかにするために、資産、負債、資本を一表に記載した報告書で、一般的に「バランス・シート」と呼ばれています。

市では、地方公営企業法に基づき「水道事業の業務状況」を年2回公表しています。今回は、平成25年度上半期(平成25年4月1日～9月30日)の業務状況をお知らせします。

9月末現在で、この半年間に使われた水の量は174万1,485立方メートルで、ドラム缶に換算すると約871万本の水量になります。また、9月末現在の給水人口は39,752人、給水世帯は14,046世帯です。

大地震に備え「下妻市防災訓練」を実施

安心・安全なまちづくり

茨城県南西部を震源とする大型の直下型地震が発生したことを想定した「下妻市防災訓練」を11月10日、県の広域避難所となっている砂沼サンビーチの駐車場で開催し、市や地域住民、消防、警察、自衛隊、災害時応援協定締結企業など関係者約600名が消火活動や倒壊家屋からの被災者救出、救急救命講習などを実施しました。また、災害時の相互支援協定を締結している浦安市からは中村副市長の特別参加がありました。

訓練は、下妻市内に震度7の地震が発生し、家屋の倒壊や火災が起こり、今後も強い余震が起こる可能性があることを想定し、行政だけでは対処しきれないことを踏まえ、自主防災組織をはじめとする地域の「共助」により、被害を最小限に抑えることを目的としました。



救急救命講習に取り組む地域住民の皆さん

ヘリコプターによる被災状況の確認に始まり、初期消火訓練では、バケツリレーでの消火活動に多くの市民が協力し、家屋が倒壊した現場では、がれきに挟まれた被災者を身近にある道具を使い工夫して救出しました。また、AED(自動体外式除細動器)を使った救急救命講習では、救急救命士から指導を受けて訓練用の人形で体験するなど、参加者は真剣に取り組んでいました。

展示・体験コーナーでは、協定締結企業等による災害時に役立つ機能や商品のPRに多くの市民が関心を寄せ、「煙体験ハウス」で火災により煙が充満した状態を体験した60歳代の男性は「煙で前が見えないと足が先に進まなくなってしまう。平衡感覚もなくなるので、実際に逃げるのは大変だ」と話してくれました。



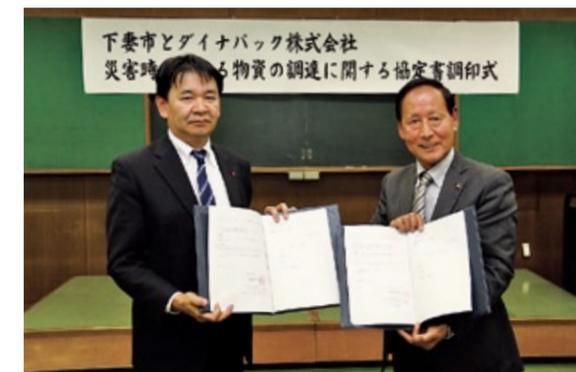
煙が充満した「煙体験ハウス」から脱出してきた参加者

支援体制の確立

ダイナパック株式会社と災害時における物資の調達に関する協定の締結

11月28日、段ボール等の包装資材を製造・販売する「ダイナパック株式会社」と災害時における物資の調達に関する協定を締結しました。

段ボールは、避難所でのクッションの役割や断熱性のほか、プライバシー保護の間仕切りなど、多目的に使用できる物資で、ダイナパック株式会社つくば事業所の安達所長からは「避難所で市民の皆さまが少しでも快適に過ごせるような用途に使用していただければありがたい」と話していました。



協定書に調印、取り交わした安達つくば事務所長(左)と稲葉市長(右)

消防・防災

下妻市消防団第4分団第3部に消防ポンプ自動車が増備

11月22日、下妻市消防団第4分団第3部に消防ポンプ自動車が増備され、市役所本庁舎前で引き渡しが行われました。

納車式で、野中副市長から鍵の引き渡しを受けた安達政男第4分団長は「最新型消防車両の機動力を生かすためには、日々の訓練が必要とされます。これからも第4分団の団結力を強化し、消防団員としての自覚と責任を持って、下妻市民のため任務を全うします」と力強く語りました。



機動力が高い最新型消防ポンプ自動車

有料広告欄

有料広告欄